

トップページ: <http://mylibrary.maeda1.jp/>

OPEC: <http://mylibrary.maeda1.jp/OPEC.html>

掲載日: 2017.2.3

(ニュース解説) OPEC 減産合意の経緯



昨年9月28日、アルジェで OPEC 臨時総会が開催され、加盟14か国の原油生産量の上限を3, 250～3, 300万 B/D とすることで合意した¹。前月の生産量は3, 324万 B/D であり実質的には最大で70万 B/D 程度の減産となる。その後10月14日にはトルコのイスタンブールで OPEC 加盟国の UAE、アルジェリア、ベネズエラなど5か国と非 OPEC のロシア、メキシコが協調減産について協議した²。そして11月30日にはウィーンで OPEC 定例総会が開かれ、加盟14か国中の11か国の国別割り当てが決められた³(リビア及びナイ

ジェリアは割り当て対象外とされ、またインドネシアは2009年1月～2015年12月に続いて再び加盟国資格を停止した)。

さらに12月10日にはウィーンの OPEC 本部で OPEC-非 OPEC の閣僚会合が開かれ OPEC 加盟国による120万 B/D 減産に加え非 OPEC 産油国が55.8万 B/D を減産することで合意し、2017年1月から半年間、両者合わせて約180万 B/D を協調減産することが決まった⁴。閣僚会議に参加した非 OPEC 産油国は、ロシア、メキシコ、オマーンのほかカザフスタン、マレーシア、アゼルバイジャン、バハレーン、ブルネイ、エクアトール・ギニア、スーダンおよび南スーダンの11か国であった。

そして1月から6か月間の各国の減産状況を監視するため OPEC 側からクウェイト、アルジェリア、ベネズエラ、非 OPEC 側からロシア、オマーンの合計5か国による監視委員会が立ち上げられ、1月22日にその第一回会合を開催、以後毎月17日に報告書を提出することになった。

以上が昨年9月以降の OPEC とそれに同調したロシアなど非 OPEC 産油国の協調減産の動きであるが、9月のアルジェ臨時総会で OPEC 加盟国が一致して減産に踏み切ったのは2008年12月以来8年ぶりのことであり OPEC 加盟国間の不協和音を聞きなれた市場関係者の中で驚きの声が上がったほどである。さらに OPEC と非 OPEC のロシアが協調減産に踏み切るのは2001年以来15年ぶりのことであり、世界中がその動向を注目している。

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

荒葉一也

E-mail; areha_kazuya@jcom.home.ne.jp

携帯; 090-91 の 57-3642

-
- ¹ OPEC Press Release on 2016/9/27, '170th (Extraordinary) Meeting of the OPEC Conference'
http://www.opec.org/opec_web/en/press_room/3706.htm
 - ² OPEC Press Release on 2016/10/14, 'OPEC, non-OPEC countries hold "constructive" talks in Istanbul'
http://www.opec.org/opec_web/en/press_room/3758.htm
 - ³ OPEC Press Release 'OPEC 171st Meeting concludes' & AGREEMENT on 2016/11/30,
http://www.opec.org/opec_web/en/press_room/3912.htm
http://www.opec.org/opec_web/static_files_project/media/downloads/press_room/OPEC%20agreement.pdf
 - ⁴ OPEC Press Release on 2016/12/10, 'OPEC and non-OPEC Ministerial Meeting'
http://www.opec.org/opec_web/en/press_room/3944.htm